

## カリキュラム

機構施設名： 奈良職業能力開発促進センター  
 実施機関名： 一般社団法人日本経営協会関西本部

<b>A. 生産管理</b>	<b>生産現場の問題解決</b>
----------------	------------------

コースのねらい	生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。
---------	--------------------------------------

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1	<b>■ 生産活動の基本</b>  (1)生産マネジメントとは(ワークあり) ・生産マネジメントとは何かをまず考えて頂いた上で、生産マネジメントの目的と内容、QCDSMEの追求であることなど、基本的な内容を学び、生産工場の役割を通して自身の役割を知る。  (2)生産現場の役割(ワークあり) ・今期の(会社、部署、個人)目標を確認し、生産現場による実行力が無ければ目標は達成されない事、現場が重要な役割を追っている事を学び、そのために生産現場では主体的な改善力が必要であることを知る。	1.5
	2	<b>■ 現状分析とムダの発見</b>  (1)生産現場の分析(ワークあり) 現場の人、機械、材料、方法(4M)に注目し生産の安定稼働を確保することの重要性や様々な問題の見つけ方を学ぶ。  (2)生産現場のムダ(ワークあり) 生産現場の7つのムダ、ムダの取り方について学び、自身の業務におけるムダや問題を抽出するワークを行う。	2.0
	3	<b>■ 生産現場の改善</b>  (1)生産改善の視点(ワークあり) 5Sは整理整頓が目的ではない事、なぜなぜ分析による真の原因追及を学び、自身が抽出したムダや問題の真の原因を考える。  (2)生産改善の検討(ワーク) 抽出したムダや問題、課題の改善方法を検討し、発表を行い全員で共有する。	2.5
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
ムラやロスについての基本的な考え方を理解し、日々の業務にも意味があることや、現場での主体的な改善が会社にとって必要不可欠であることを学ぶ。